埼玉県和光市

午王山遺跡総括報告書

2019. 6

和光市教育委員会

埼玉県和光市

デザラや* 午王山遺跡総括報告書

2019. 6

和光市教育委員会



午王山遺跡第2次調査空撮 1981(昭和56)年



午王山遺跡空撮南から 2019(平成31)年4月



第 9 次調査空撮 2001 (平成13) 年



第8次調査空撮遠景 2000(平成12)年



第8次調査空撮



第 9 次調査空撮 2001 (平成13) 年



第9次調査A区空撮



第9次調査B区空撮



第2次調査A溝



第10次調查B溝調查風景



第7次調查A溝調查風景

第13次調査C溝調査風景



第2次調査全景



第4次調査全景



第6次調査全景



下戸塚式土器



午王山遺跡空撮北東から 2019(平成31)年4月



午王山遺跡空撮東から 2019(平成31)年4月

序文

現在和光市内には、43か所の埋蔵文化財包蔵地が確認されています。これら埋蔵文化財をはじめとする文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産であり、私たちにはこれを保護し後世に伝えていく使命があると考えています。

埼玉県和光市新倉3丁目2831番1外に所在する午王山遺跡は、「新羅から来た王子が住んでいた。」という伝説が残されている遺跡です。これまでの15回にわたる発掘調査で主に弥生時代の遺構・遺物が多量に発見され、市民や研究者から貴重な環濠集落遺跡であることが広く知られております。それにより、当市では2013(平成25)年4月に、遺跡の第15次調査地点(新倉3丁目2831-1)を公有地化し、和光市指定文化財(史跡)に指定することで遺跡の保存を進めてきました。また、2018(平成30)年2月には午王山遺跡から出土した弥生時代の遺物121点が「午王山遺跡出土品」として埼玉県指定文化財(考古資料)に指定され、遺跡・遺物ともに注目されている遺跡です。

和光市教育委員会では、午王山遺跡の重要性を鑑み、これまでに行われた発掘調査や確認調査の成果を集成し総合的に分析することで、改めて午王山遺跡の実態と貴重な文化遺産であることを明確にするため、この度『午王山遺跡総括報告書』を刊行する運びとなりました。本書が、午王山遺跡を含め弥生時代の環濠集落研究及び地域文化交流の研究と埋蔵文化財の保護を図るための資料として活用されることを切に願っております。

最後になりますが、本書の刊行に当たり、文化庁文化財第二課並びに埼玉県教育 局市町村支援部文化資源課をはじめ、午王山遺跡総括報告書策定委員会委員各位、 そして土地所有者の方々と数多くの関係者の皆さまからのご指導とご協力を賜り、 心より厚くお礼申し上げます。

令和元年6月

和光市教育委員会教育長 戸部 惠一

例 言

- 1. 本書は埼玉県和光市新倉3丁目2831番1外に所在する午王山遺跡についての総括報告書である。
- 2. 本書の作成は、埼玉県和光市教育委員会事務局生涯学習課を事務局とし、午王山遺跡総括報告書策定委員会設置要綱に基づく午王山遺跡総括報告書策定委員会による指導のもと、2018(平成30)年度から2019(平成31(令和元))年度にかけて実施した。
- 3. 本書策定事業は、2019 (平成 31 (令和元)) 年度文化庁国庫補助金対象事業として実施されたものである。
- 4. 発掘調査は、宅地造成工事、道路改良工事、農地改良工事に伴う記録保存のための発掘 調査及び保存目的のための範囲内容確認調査である。宅地造成工事、道路改良工事に伴う 記録保存のための発掘調査は原因者の負担により、農地改良工事に伴う記録保存のための 発掘調査については国庫補助金、県費補助金の交付を受け、また保存目的のための範囲内 容確認調査は市費により実施した。第1次を和光市午王山遺跡調査会が、第2次~第6次・ 第8次・第9次、第11次・第12次、第14次及び第15次調査を和光市教育委員会が、 第7次・第10次・第13次調査を和光市遺跡調査会が実施した。
- 5. 発掘調査及び本書の作成にあたっては、文化庁文化財第二課、埼玉県教育局市町村支援 部文化資源課の指導・助言を受けた。
- 6. 各調査区の年次、調査期間、地番、調査面積、主な遺構・遺物は第 I 章のとおりである。
- 7. 報告書の執筆は、第 I 章を粂野友也、第 II 章第 1 節を江口やよい、第 2 節を坂口由加里、 第 III 章第 1 節及び第 6 節を安井翠、第 2 節を鈴木敏弘、第 3 節、第 5 節、第 7 節、第 IV 章 及び第 VI 章を鈴木一郎、第 III 章第 4 節を前田秀則、第 V 章第 1 節を遠藤英子、第 2 節を小 倉淳一、第 3 節を柿沼幹夫、第 4 節を石川日出志が行った。
- 8. 午王山遺跡全体測量図の作成は、株式会社東京航業研究所に委託した。
- 9. 出土遺物は、和光市教育委員会が保管・管理している。
- 10. 遺構・遺物については再検討をしたため、既に刊行された報告書等と解釈が異なる部分があるが、本書を優先する。
- 11. 発掘調査及び本書の作成にあたり、下記の諸氏、諸機関からご教示・ご援助を賜った。 記して謝意を表します(敬称略・順不同)。

和光市文化財保護委員会 公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター 朝霞市立博物館 朝霞市埋蔵文化財センター 板橋区教育委員会 西東京市教育委員会 文京区教育委員会 (株)武蔵文化財研究所

江原 順 大久保聡 大谷 徹 尾形則敏 加藤秀之 川畑隼人 倉澤麻由子 黒尾和久近藤 敏 佐藤康二 斯波 治 知久裕昭 照林敏郎 徳留彰紀 中岡貴裕 禰冝田佳男根本 靖 野沢 均 野中 仁 藤井幸司 松本 完 宮瀧交二 山田尚友

凡例

- 1. 本書図版の縮尺は、原則として以下のようにし、適宜スケールを付した。 遺構 住居跡 1 / 150 溝跡 1 / 300 方形周溝墓 1 / 150・1 / 400 遺物 土器・土製品 1 / 3 集成図遺物 1 / 6
- 2. 図版中の焼土・赤色塗彩にスクリーントーン (ドット)を用いた。
- 3. 遺物観察の数値はcmで、() は復元値を示す。
- 4. 遺物観察表の胎土は次の表記で示している。

A:砂粒、B:赤色粒、C:白色粒、D:小石、E:金雲母、F:雲母、G:石英、

H:長石、I:輝石·角閃石、J:白色針状物質、K:繊維

- 5. 遺物観察表に記載した色調の表現は、『新訂標準土色帖』(1997 年版・農林水産省監修) に従った。
- 6. 挿図中の方位は磁北を示し、水糸レベルは海抜標高を示す。
- 7. 遺構の主軸方向 N-○°-E・Wは、磁北からの角度を示す。
- 8. 遺構図版中の一点鎖線は攪乱を示し、点線は推定を示す。
- 9. 遺構番号は、本書の作成にあたり一部を改めて表記した。そのため、既刊の報告書とは異なるものがある。

目 次

口絵
序文
例言•凡例
目次(本文・挿図・口絵カラー・挿表・図版)

第Ⅰ章	総括報告書作成の目的と経緯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第1節	総括報告書作成の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第2節	総括報告書作成の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
第3節	総括報告書作成の経緯と組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
第Ⅱ章	遺跡の地理的環境と歴史的環境 ・・・・・・・・・・・・・・・ 5
第1節	立地と地理的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
第2節	周辺の遺跡と歴史的環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
第Ⅲ章	午王山遺跡の調査経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・21
第1節	本調査以前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
第2節	第 1 次·第 2 次調査 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
第3節	第 3 次~第 7 次調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
第4節	第8次~第14次調查 •••••• 30
第5節	保存目的(第15次)調査と調査全体の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
第6節	確認調查報告 ••••••• 44
第7節	第 2 次調査出土遺物補遺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
第IV章	検出された遺構と遺物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・67
第1節	弥生時代住居跡と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
第2節	弥生時代環濠と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・121
第3節	弥生時代方形周溝墓と遺物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・140
第V章	弥生時代集落と出土遺物の分析・検討 ・・・・・・・・・・・ 145
第1節	レプリカ法による午王山遺跡の栽培穀物調査・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145
第2節	東日本の環濠集落からみた午王山遺跡・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
第3節	午王山遺跡出土弥生土器の編年的位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・ 177
第4節	午王山遺跡と弥生時代の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・219

第VI章	総括	227
第1節	午王山遺跡弥生時代集落の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	227
第2節	午王山遺跡と周辺の弥生時代集落・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	236
第3節	午王山遺跡の調査成果と歴史的価値 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	238
引用•参考文	南t	

報告書抄録

挿 図 目 次

第 1 図	武蔵野台地と周辺地形区分図5	第 39 図	第25号住居跡出土遺物	56
第 2 図	午王山遺跡座標図6	第 40 図	第30号住居跡出土遺物	56
第 3 図	午王山遺跡地形図 7	第 41 図	第31号住居跡出土遺物	56
第 4 図	午王山遺跡発掘調査位置図9	第 42 図	第32号住居跡出土遺物	56
第 5 図	和光市遺跡分布図13	第 43 図	第33号住居跡出土遺物	57
第 6 図	午王山遺跡周辺弥生時代遺跡分布図17	第 44 図	第36号住居跡出土遺物	57
第 7 図	表面採取再実測遺物23	第 45 図	第43号住居跡出土遺物	57
第 8 図	表面採取遺物 24	第 46 図	第44号住居跡出土遺物	57
第 9 図	午王山遺跡全体図25	第 47 図	A溝(第2次調査第2号溝)出土遺物	58
第 10 図	第 1 次調査区全体図 34	第 48 図	第2次調査区出土遺物	58
第 11 図	第 2 次調査区全体図35	第 49 図	第 1 号住居跡	81
第 12 図	第 3 次調査区全体図36	第 50 図	第2号住居跡	81
第 13 図	第 5 次調查A区全体図 ······37	第 51 図	第3号住居跡	81
第 14 図	第4·5次調查B区全体図 ·····38	第 52 図	第 4 号住居跡	81
第 15 図	第6・7次調査区全体図39	第 53 図	第 5 号住居跡	82
第 16 図	第8・9次調査B区全体図 ····· 40	第 54 図	第6号住居跡	82
第 17 図	第 9 次調查A区 • 15次調查区全体図 41	第 55 図	第7号住居跡	82
第 18 図	第10・11次調査区全体図42	第 56 図	第8号住居跡	82
第 19 図	第12・14次調査区全体図 43	第 57 図	第9号住居跡	83
第 20 図	第13次調査区全体図44	第 58 図	第10号住居跡	83
第 21 図	新倉3丁目2837-1地点トレンチ配置図 46	第 59 図	第11号住居跡	83
第 22 図	新倉3丁目2829-1地点トレンチ配置図 46	第 60 図	第12号住居跡	83
第 23 図	新倉3丁目2811-1地点トレンチ配置図47	第 61 図	第13号住居跡	84
第 24 図	新倉3丁目2811-1地点トレンチ柱状図47	第 62 図	第14号住居跡	84
第 25 図	新倉3丁目2830-1地点トレンチ配置図48	第 63 図	第15号住居跡	84
第 26 図	新倉3丁目2830-1地点出土遺物48	第 64 図	第16号住居跡	84
第 27 図	第3号住居跡出土遺物52	第 65 図	第17号住居跡	85
第 28 図	第6号住居跡出土遺物52	第 66 図	第18号住居跡	85
第 29 図	第7号住居跡出土遺物52	第 67 図	第19号住居跡	85
第 30 図	第9号住居跡出土遺物53	第 68 図	第20号住居跡	85
第 31 図	第10号住居跡出土遺物53	第 69 図	第21・23号住居跡	86
第 32 図	第16号住居跡出土遺物54	第 70 図	第22号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	86
第 33 図	第17号住居跡出土遺物54	第71図	第24号住居跡	86
第 34 図	第18号住居跡出土遺物54	第 72 図	第25号住居跡	86
第 35 図	第19号住居跡出土遺物55	第 73 図	第26号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	87
第 36 図	第21号住居跡出土遺物55	第 74 図	第27号住居跡	87
第 37 図	第22号住居跡出土遺物55	第 75 図	第28号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
第 38 図	第23号住居跡出土遺物55	第 76 図	第29号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	87

第 77 図	第30号住居跡	· 87	第129図	第86号住居跡	102
第 78 図	第31号住居跡	· 88	第130図	第87号住居跡	103
第 79 図	第32号住居跡	· 88	第131図	第88号住居跡	103
第 80 図	第33·43号住居跡 ······	· 88	第132図	第89号住居跡	103
第81図	第34号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 88	第133図	第90号住居跡	104
第 82 図	第35号住居跡	· 88	第134図	第91号住居跡	104
第 83 図	第36号住居跡	· 88	第135図	第92号住居跡	104
第 84 図	第37号住居跡	. 89	第136図	第93号住居跡	105
第 85 図	第38号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 89	第137図	第94号住居跡	105
第 86 図	第39号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 89	第138図	第95号住居跡	105
第 87 図	第40号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 89	第139図	第96号住居跡	105
第 88 図	第41号住居跡	. 89	第140図	第97号住居跡	106
第 89 図	第42号住居跡	. 89	第141図	第98号住居跡	106
第 90 図	第44·46号住居跡 ·····	. 90	第142図	第99号住居跡	106
第 91 図	第45号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 90	第143図	第100号住居跡	107
第 92 図	第46号住居跡		第144図	第101号住居跡	107
第 93 図	第47号住居跡	. 90	第145図	第102号住居跡	107
第 94 図	第48•49号住居跡	. 91	第146図		
第 95 図	第50号住居跡	. 91	第147図	第104号住居跡	
第 96 図	第51号住居跡		第148図	第105号住居跡	
第 97 図	第52号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		第149図	第106号住居跡	
第 98 図	第53 • 54号住居跡		第150図	第107号住居跡	
第 99 図	第55号住居跡		第151図	第108号住居跡	
第100図	第56号住居跡		第152図	第109号住居跡	
第101図	第57号住居跡		第153図	第110号住居跡	
第102図	第58号住居跡		第154図	第111号住居跡	
第103図	第59号住居跡		第155図	第112号住居跡	
第104図	第60・61号住居跡		第156図	第113号住居跡	
第105図	第62号住居跡		第157図		
第106図	第63号住居跡		第158図		
第107図	第64号住居跡		第159図	第116号住居跡	112
第108図	第65号住居跡		第160図	第117号住居跡	
第109図	第66号住居跡		第161図	第118号住居跡	
第110図	第67号住居跡		第162図	第119号住居跡	
	第68号住居跡		第163図	第120・121号住居跡	113
第112図	第69号住居跡	. 96	第164図	第122号住居跡	113
第113図	第70号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		第165図	第123号住居跡	113
第114図	第71号住居跡		第166図	第124号住居跡	113
第115図	第72号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		第167図	第125号住居跡	113
第116図	第73号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 98	第168図	第126号住居跡	114
第117図	第74号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 98	第169図	第127号住居跡	114
第118図	第75号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		第170図	第128号住居跡	114
第119図	第76号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 99	第171図	第129号住居跡	114
第120図	第77号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 99	第172図	第130号住居跡	114
第121図	第78号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		第173図	第131号住居跡	115
第122図	第79号住居跡 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		第174図	第132号住居跡	
第123図	第80号住居跡		第175図	第133号住居跡	
第124図	第81号住居跡		第176図	第134号住居跡	
第125図	第82号住居跡		第177図	第135号住居跡	
第126図	第83号住居跡		第178図	第136号住居跡	
第127図	第84号住居跡	102	第179図	第137号住居跡	
第128図	第85号住居跡	102	第180図	第138号住居跡	117

第181図	第139号住居跡117	第226図	関東地方の弥生時代後期から古墳時代前期における
第182図	第140号住居跡117		環濠の規模比較 (2)169
第183図	第141号住居跡118	第227図	花ノ木遺跡で検出された溝 170
第184図	第142号住居跡119	第228図	中里前原遺跡第1次調査区で検出された溝 …171
第185図	第143号住居跡119	第229図	伊場遺跡の多重環濠 172
第186図	第144号住居跡119	第230図	午王山遺跡の宮ノ台式土器と周辺遺跡との比較-1
第187図	第145号住居跡 120		180
第188図	第146号住居跡120	第231図	午王山遺跡の宮ノ台式土器と周辺遺跡との比較-2
第189図	第 147・148・149号住居跡 120		181
第190図	午王山遺跡 A ・ B ・ C 溝全体配置図 126		岩鼻式土器 1 期と時間的併行関係を示す資料…183
第191図	午王山遺跡環濠東側図127	第233図	午王山遺跡とその周辺域 後期前半期の土器編年
第192図	午王山遺跡環濠西側図129		184
第193図	C溝配置図 131	第234図	
第194図	A溝 2 次調査(1 号溝)出土遺物132	第235図	下戸塚式土器生成に関わる土器群 189
第195図	A溝 5 次調査A区(1号溝)出土遺物132	第236図	
第196図	A溝11次調査(1号溝)出土遺物133	第237図	午王山遺跡とその周辺域 下戸塚式から弥生町式の
第197図	A溝 2 次調査(2 号溝)出土遺物133		壺の頸胴部装飾帯 193
第198図	A溝3次調査(2号溝)出土遺物134		午王山遺跡 下戸塚式中・新期の土器196
第199図	A溝 4 次調査(2 号溝)出土遺物(1) 135	第239図	下戸塚式中・古期の土器と駿河の土器との比較
第200図	A溝 4 次調査(2 号溝)出土遺物(2) 136		198
第201図	A溝 5 次調査B区(2号溝)出土遺物(1)136	第240図	近隣遺跡の下戸塚式中期ないしは併行期の土器
第202図	A溝5次調査B区(2号溝)出土遺物(2)137		200
第203図	A溝7次調査 (2号溝) 出土遺物 (1) ······ 138		下戸塚式新・古期の土器 202
第204図	A溝7次調査 (2号溝) 出土遺物 (2) ······ 139		下戸塚式新・新期の土器 204
第205図	A溝10次調査(1号溝)出土遺物139	第243図	下戸塚式新・古期との併行関係土器 205
第206図	B溝 3 次調査(6 号溝)出土遺物139	第244図	午王山遺跡にはない弥生町式土器の壺 207
第207図	B溝 4 次調査(6 号溝)出土遺物139	第245図	
第208図	B溝 5 次調査B区(6 号溝)出土遺物139		後期土器編年- 1
第209図	B溝10次調査(6号溝)出土遺物139	第246図	武蔵野台地東北縁(白子川・黒目川・柳瀬川流域)
第210図	C溝13次調査(5号溝)出土遺物139	tota a v = r	後期土器編年-2
第211図	第1·10次調查区方形周溝墓配置図142	第247図	
第212図	第 1 号方形周溝墓 143	#T.O.10FF	後期土器編年-3
第213図	第2号方形周溝墓143		午王山遺跡周辺弥生時代遺跡分布図 220
第214図	第3号方形周溝墓144	第249図	関東の弥生時代中期後半と後期前半の土器型式分布221
第215図	第 4 号方形周溝墓	第250図	弥生後期における東海系土器の関東への普及
第216図	第 5 号方形周溝墓		
第217図	午王山遺跡の環濠推定復元案158	第251図	低地性集落の出現 224
第218図	関東地方における環濠の推定面積 160	第252図	弥生後期の青銅器関連遺物の分布 225
第219図	関東地方における環濠の推定周長 160	第253図	午王山遺跡弥生時代中期後半遺構分布図 229
第220図	関東地方における環濠の推定掘削土量 160	第254図	午王山遺跡弥生時代後期前半遺構分布図 230
第221図	環濠面積と環濠周長の相関161	第255図	
第222図	環濠周長と掘削土量の相関161	第256図	午王山遺跡弥生時代後期中葉後半遺構分布図 … 232
第223図	猫島遺跡の環濠集落 163	第257図	午王山遺跡弥生時代後期後半遺構分布図 233
第224図	関東地方における弥生時代中期・後期の環濠・	第258図	A溝出土銅鐸形土製品 235
	条濠を有する遺跡の分布 166	第259図	午王山遺跡周辺弥生時代遺跡分布図 239
第225図	関東地方の弥生時代後期から古墳時代前期における	第260図	環濠集成図(1)240
	環濠の規模比較(1)168	第261図	環濠集成図 (2)241

口絵カラー目次

- 1 午王山遺跡第2次調査空撮 1981(昭和56)年
- 2-1 午王山遺跡空撮南から 2019(平成31)年4月
- 2-2 第9次調査空撮 2001(平成13)年
- 3-1 第8次調査空撮遠景 2000(平成12)年
- 3-2 第8次調査空撮
- 4-1 第9次調査空撮 2001(平成13)年
- 4-2 第9次調查A区空撮
- 4-3 第9次調查B区空撮
- 5-1 第2次調查A溝
- 5-2 第10次調查B溝調查風景
- 5-3 第7次調查A溝調查風景
- 5-4 第13次調査C溝調査風景

- 6-1 第2次調査全景
- 6-2 第4次調査全景
- 6-3 第6次調査全景
- 7-1 銅鐸形土製品
- 7-2 銅釧
- 7-3 岩鼻式土器と久ヶ原式土器
- 7-4 下戸塚式土器
- 8-1 午王山遺跡空撮北東から 2019(平成31)年4月
- 8-2 午王山遺跡空撮東から 2019(平成31)年4月

挿 表 目 次

第	1	表	午王山遺跡調査一覧表2	第 17 表	第23号住居跡出土遺物観察表63
第	2	表	市内遺跡一覧表12	第 18 表	第25号住居跡出土遺物観察表63
第	3	表	周辺の弥生時代遺跡一覧表18	第 19 表	第30号住居跡出土遺物観察表63
第	4	表	表面採取再実測遺物観察表23	第 20 表	第31号住居跡出土遺物観察表 · · · · · 64
第	5	表	新倉3丁目2830-1地点出土遺物観察表48	第 21 表	第32号住居跡出土遺物観察表64
第	6	表	第3号住居跡出土遺物観察表59	第 22 表	第33号住居跡出土遺物観察表64
第	7	表	第6号住居跡出土遺物観察表59	第 23 表	第36号住居跡出土遺物観察表64
第	8	表	第7号住居跡出土遺物観察表59	第 24 表	第43号住居跡出土遺物観察表65
第	9	表	第9号住居跡出土遺物観察表60	第 25 表	第44号住居跡出土遺物観察表65
第	10	表	第10号住居跡出土遺物観察表60	第 26 表	A溝出土遺物観察表 · · · · 65
第	11	表	第16号住居跡出土遺物観察表61	第 27 表	第 2 次調査区出土遺物観察表 66
第	12	表	第17号住居跡出土遺物観察表61	第 28 表	午王山遺跡レプリカ法調査同定資料一覧149
第	13	表	第18号住居跡出土遺物観察表61	第 29 表	午王山遺跡レプリカ調査土器型式別同定穀物集計
第	14	表	第19号住居跡出土遺物観察表62		151
第	15	表	第21号住居跡出土遺物観察表62	第 30 表	午王山遺跡とその周辺域 弥生時代中期後半から
第	16	表	第22号住居跡出土遺物観察表63		後期末の編年 208

図 版 目 次

図 版 1 午王山遺跡全景

午王山遺跡空撮南から 2019(平成31)年4月

午王山遺跡第2次調査空撮北西から 1981(昭和56)年

図版2 午王山遺跡全景

午王山遺跡第2次調査全景 1981(昭和56)年

図版3 第1次調査

第1次調查前全景

第1次調査全景

図版4第1次調査

方形周溝墓確認状況

方形周溝墓全景

図版5 第2次調査

第2次調査A溝と第30・25号住居跡

第2次調査東から/第2次調査A溝東側

図版6第3次調査

第3次調査A溝西から

第3次調查B溝遺物出土状況

図版7第4次調査

第4次調査全景東から

B溝土層堆積状態

A·B溝

図版8 第4次調査

第 4 次調查第51号住居跡/第51号住居跡遺物出土状況

第 4 次調查B溝全景/第 4 次調查B溝遺物出土状況

図版9 第5次調査

第5次調查A区A溝/第5次調查B区A溝

第5次調査B区B溝/B溝北から

図版10第6次調査

第6次調査

第6次調査第74号住居跡

第74号住居跡/第74号住居跡遺物出土状態

図版11第7・8次調査

第7次調査A溝西から

第8次調査遠景東から

第8次調査

図版12第9次調査

第9次調查

第9次調查A区/第9次調查B区

図 版 13 第10次調査

第10次調查A溝/第10次調查B溝調查風景

第10次調査B溝西から

第10次調查第4号方形周溝墓

図 版 14 第11・13次調査

第11次調査A溝北から

第13次調查C溝/調查風景

図 版 15 第12・14次調査

第12次調査全景南東から

第14次調査全景南西から

図 版 16 午王山遺跡全景

午王山遺跡全景 2019(平成31)年4月

午王山遺跡全景 1977(昭和52)年1月

図版17出土遺物

銅鐸形土製品 第3次調査・第5次調査・第7次調査/銅釧

第82号住居跡出土遺物

第72号住居跡出土遺物

図版18出土遺物

第97·108号住居跡出土遺物

第74号住居跡出土遺物

第141号住居跡出土遺物

第10号住居跡出土遺物

図版19出土遺物

A溝出土遺物

図 版 20 圧痕土器と同定した栽培穀物

写真1~13/実測図1~2

図 版 21 圧痕土器と同定した栽培穀物

写真14~25/実測図3~5

図 版 22 圧痕土器と同定した栽培穀物

写真26~37/実測図6~8

図 版 23 圧痕土器と同定した栽培穀物

写真38~47/実測図9~13

図 版 24 圧痕土器と同定した栽培穀物

写真48~55/実測図14~17